

# 令和8年度よりスタート！児童の学びを深める 「40分授業」と「教科担任制」の拡充

三田市立すずかけ台小学校

## 1. はじめに

三田市立すずかけ台小学校は、「夢に向かって共に歩むすずかけっ子の育成」を目指し、創意工夫を生かした学校づくりを行なっています。「40分授業及び3年生以上の教科担任制(交換授業)」は、児童一人ひとりの学びをさらに進化させるための実施策の一つとして、**令和8年4月より導入**します。

この取り組みは、**文部科学省・中央教育審議会**において、次期学習指導要領に向けた「教育の質の向上と、学校現場での実現可能性の両立」を図るための重要な政策の方向性とも合致しています。

本校の取り組みは、**三田市教育委員会**から「研究校」として研究指定を受ける予定です。教育改革の最先端で、子どもたちの学びを確実に進化させてまいります。



## 2. 伸ばしたい3つの力（解決したい課題）

本校は、次の3つの課題を解決し、**児童の主体的、探究的、補充的な学習を推進**します。

### 課題1：午前中の集中力を最大限に生かしたい

児童が集中しやすい時間帯にしっかり学べる時間割をつくり、学習の質の向上をめざします。 ※午後になるとどうしても集中が続きにくい。

(対応策：**40分授業の導入**)

### 課題2：自分で考え、対話し、深く学ぶ力を伸ばしたい

一つ一つの学習の質を高め、主体的・対話的で深い学びのさらなる推進を図る。  
※授業の準備や研究の質をあげたい。

(対応策：**3年生以上の教科担任制の拡充**)

### 課題3：いろんな先生に見守られ、安心して学びたい

複数の教員とつながり、“見守られている”安心感をつくりたい。  
※担任以外の先生に相談しやすい環境をつくりたい。

(対応策：**3年生以上の教科担任制の拡充**)

### 3. 40分授業・3年生以上の教科担任制とは？

#### (1) 40分授業とは？

現在、1単位時間を45分とした授業を実施していますが、令和8年度より1単位時間を**40分を1コマとして実施**します。

#### ○授業時間について

コマ数は増加しますが、合計授業時間は現状と変わりません。従来のコマ数で教科書の学習を習得させ、**増加したコマ数**を「主体的な学習」「探求的な学習」「補充的な学習」に活用します。

現在実施している各学年の授業時数 (1コマ=45分)					
第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
850コマ	910コマ	980コマ	1015コマ		

↓

合計授業時間は変わりません

令和8年度より実施する各学年の授業時数 (1コマ=40分)					
第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
956コマ	1024コマ	1103コマ	1142コマ		

増加したコマ数は「主体的・探求的・補充的学習の時間に活用」

第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
106コマ	114コマ	123コマ	127コマ		

#### ■ 主体的学習 (=自分で学び方をつくる)

- ・「どう学びたいか」「どこを伸ばしたいか」を自分で選ぶ力を育てる

#### ■ 探求的学習 (=なぜ?を深掘りする)

- ・「なぜ?」「もっと知りたい」から始まる学びを保障

#### ■ 補充的学習 (=自分の課題と向き合う)

- ・つまづきを自分のペースで乗り越えられる時間

#### (2) 3年生以上の教科担任制 (交換授業) とは？

現在、高学年では専科指導や授業交換を行い、複数の教員がチームとして児童に関わっています。令和8年度からは、この取り組みを**3年生以上にも拡大**し、より質の高い授業づくりを進めます。

検討中	国語	算数	社会	理科	音楽	図工	体育	外国語	家庭科	道徳	総合	特活
3年	担任 A・B	担任 A・B	A	B	専科 J	専科 K	担任 A・B	専科 L	担任 E・F	担任 A・B	学年 AB	担任 A・B
4年	担任 C・D	担任 C・D	C	専科 I			D			担任 C・D	担任 C・D	学年 CD
5年	担任 E・F	担任 E・F	E		専科 H	F	担任 E・F	担任 E・F	学年 EF	担任 E・F		
6年	担任 G・H	担任 G・H	G	専科 G		H	担任 G・H	担任 G・H	学年 GH	担任 G・H		

### 4. 一日の生活時程について

全学年の下校時刻が**14時40分に統一**されます。※登校時刻は変わりません。

これにより、見守りがしやすくなるなど、安全面や利便性の向上が期待されます。また、帰宅時刻が一定になることで、生活リズムが整いやすくなることも見込まれます。

これまでの校時表																	
現在の45分授業	朝会・朝の会	1校時	休み	2校時	中休み	3校時	休み	4校時	給食	昼休み	掃除・オプショナル	5校時	休み				
	8:30	8:45	9:30	9:35	10:20	10:40	11:25	11:30	12:15	13:00	13:20	13:40	14:25	14:30			
令和8年度からの校時表																	
40分授業 6時間授業	朝の会	1校時	休み	2校時	休み	3校時	中休み	4校時	休み	5校時	給食	昼休み	掃除・オプショナル クエスチョンタイム	6校時	終わりの会		
	8:20	8:30	9:10	9:15	9:55	10:00	10:40	10:55	11:35	11:40	12:20	13:00	13:15	13:30	13:50	14:30	14:40
40分授業 5時間授業	朝の会	1校時	休み	2校時	休み	3校時	中休み	4校時	休み	5校時	給食	昼休み	掃除・オプショナル クエスチョンタイム	パワーアップ タイム	終わりの会		
	8:20	8:30	9:10	9:15	9:55	10:00	10:40	10:55	11:35	11:40	12:20	13:00	13:15	13:30	13:50	14:30	14:40

## 5. 保護者のみなさんの声

89件の丁寧な回答をいただきました。説明内容の理解度は約97%に達しています。

### (1) 期待されているポイント

期待度 93.2%

#### 教科担任制

担任一人で抱え込まず、チームでお子様を見守る体制に高い期待が集まりました。

期待度 59.3%

#### 40分授業

集中力の向上や主体的学習への期待の一方、約4割が学習定着に不安を感じています

特に期待されている点として、「授業の質の向上(61.8%)」や「複数の教員による見守り(48.3%)」が挙げられました。

### (2) 学校からの回答 (FAQ)

#### Q. 授業短縮で学力は低下しませんか？

A. 内容は削りません。子どもの集中力が保てる40分に密度を高め、生まれた時間で個別のフォローアップや補充学習を充実させることで、確実な定着を図ります。



#### Q. 中学校の50分授業への接続は大丈夫？

A. 40分で『質の高い集中』を経験した子は、10分の延長にも柔軟に対応できると考えています。むしろ『自ら学ぶ姿勢』が身につくことで、中学校での50分をより主体的に使いこなせるようになります。

保護者のみなさんの声の詳細はこちらです。二次元コードからご覧になれます。



#### Q. 生まれた時間の使い道が具体的に知りたい。

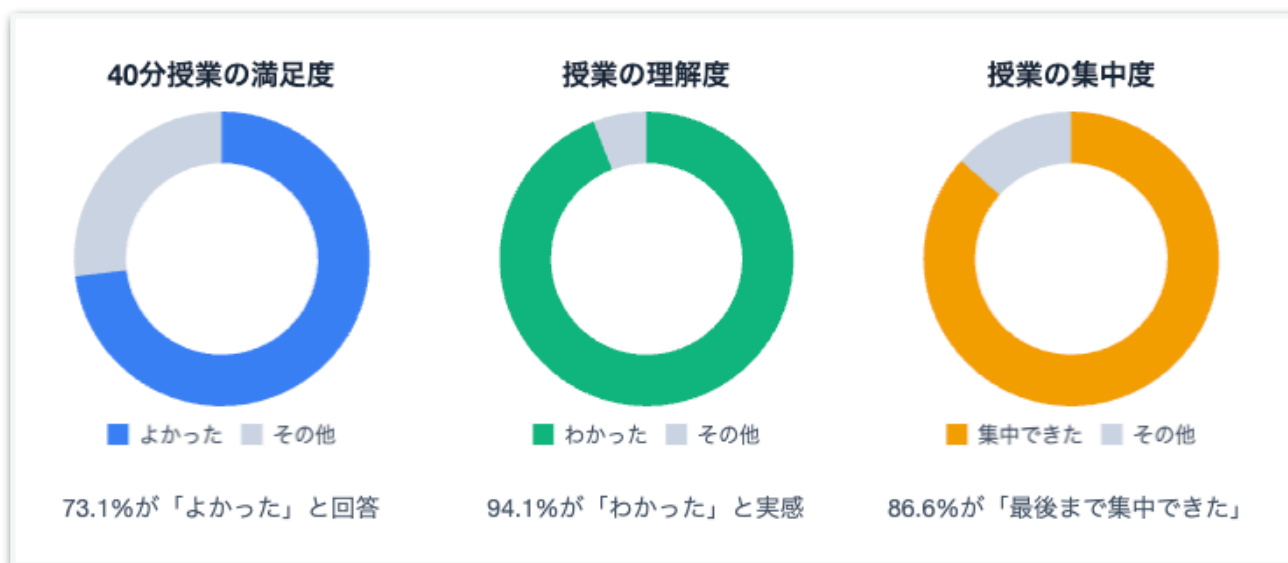
A. 一人ひとりの習熟度や興味に合わせ、基礎固めのドリルや発展的な探究活動など、自分に必要な学びを自ら選択する時間です。最初から放任せず、教員の適切なガイドのもとで「自分で選ぶ練習」から始め、個々の成長に合わせた柔軟な支援を行います。この試行錯誤を通じ、受け身ではなく自ら学びを形にする力を育むことで、変化の激しい時代を生き抜く土台を築きます。この時間の活用を教員で研究して進めていきます。

#### Q. 放課後の居場所は？

A. 最も重い課題と受け止めています。学校として、放課後の図書室開放や、地域との連携を今まで以上に強化し、お子様が安全に過ごせる場所の確保に向けて協議を進めてまいります。

## 6. 子どもの実感と試行の成果

試行期間の結果、子どもたちは非常に前向きに捉えています！



### 【試行から見えた「学びの事実」】

#### ✓ 理解度は高い水準

94.1%が「わかった」と回答。5分短い授業時間ではありますが、子どもたちはしっかりと内容を捉えてくれているようです。集中力が続くうちに大切なポイントを学ぶことで、かえって一人ひとりの学びが深まっている様子も見受けられます。

#### ✓ 家庭への学習の持ち帰りについて

短縮による影響を心配する声もありましたが、76.9%の児童が「家でやることはなかった」と答えています。

#### ! 改善のヒント

給食時間が「少し急いだ」と答えた子が47.9%。準備の効率化など調整が必要です。

### 【下校時刻の統一(14:40)への反応】

児童の66.4%が「うれしい」と回答。放課後は「家でゆっくり」「友だちと遊ぶ」が多く、心身のゆとりが生まれています。



## 7. 今後の展望について

### 学びの進化（3年計画）～子どもが〈考え・選び・動く〉学校へ～

#### ① 子どもが“つくる”行事

例えば

- ・40周年記念行事を企画運営
- ・運動会や音楽会等の内容を企画



#### ② 地域とつながる探究体験

例えば

- ・すずかけ農園で育てた野菜を販売
- ・地域の魅力や広島の学びを発信



#### ③ 学校が“子どもの自治空間”に

例えば

- ・児童会で学校生活を提案・改善
- ・異学年交流や挑戦活動も子どもが企画



40分授業と教科担任制は、学びの時間の質を高めるための土台です。

その先にめざすのは、行事・総合・特活等がすべて“子ども主体”に変わる学校。

これこそ「すずかけ台小学校の学びの進化」です。

## 8. 経緯について

- ・学校運営協議会に承認を得る（12月）
- ・PTA本部役員会で導入を報告する（1月）
- ・学校通信及び動画で説明する（1月30日）
- ・2月24日～2月27日の4日間、40分授業を試行する
- ・新しい教育課程説明会で保護者へ説明する（3月9日（月）16時～）
- ・新しい教育課程をスタート（2026年4月）